

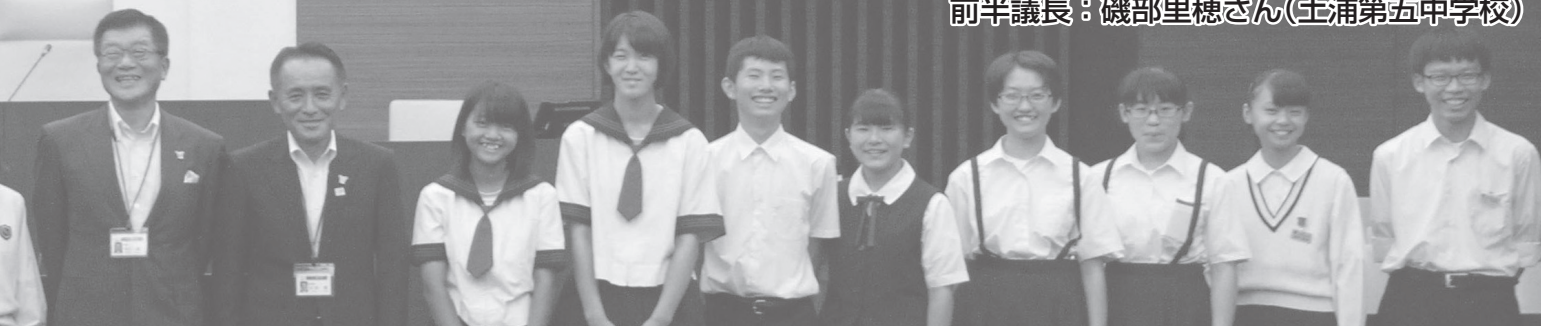
今年で22回目となる「子ども模擬議会」を、8月18日に市議会本会議場で開催しました。

今年市内の8中学校から18人が参加しました。中川市長をはじめ市執行部に対して、市について中学生たちが疑問に思っている質問を投げかけました。

今号では、中学生議員の質問と市の答弁の概要を紹介します。



前半議長：磯部里穂さん(土浦第五中学校)



## 新図書館・ギャラリーについて



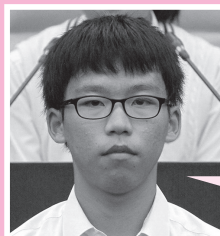
土浦第三中学校 ぬまじりひな 沼尻陽奈さん

今年オープンする図書館は、今までの図書館に比べて本の数はどのくらい増えるのでしょうか。また、ギャラリーはどのような施設になりますか。

新図書館は、面積がこれまでの4倍、最大56万冊が収蔵できる県内最大規模の市立図書館となります。小説はもちろん、将来の仕事や悩みに関する本などを用意した青少年専用コーナーを設置します。市民ギャラリーでは、オープニングに茨城県近代美術館移動美術館や土浦市美術展覧会を開催し、絵画や彫刻などが展示されますので、楽しみにしてください。

【服部教育部長】

## 中心市街地の活性化について



土浦第一中学校 なかやまたくや 中山拓哉さん

中心市街地活性化のために「土浦市中心市街地活性化基本計画」という計画を進めてますが、具体的にどんな成果があがっていますか。また、どのような中心市街地にしたいですか。

市では、中心市街地の魅力と活力を向上させ、今後の人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりの実現に向け中心市街地活性化基本計画を策定し、計画に基づき市役所や図書館などの公共施設を駅前に集めるとともに、市外から中心市街地へ移り住む人への家賃補助を行うなどの事業を進めています。今後も多くの皆さんが集い交流し、生き生きと安心して楽しく暮らせる中心市街地の実現に向け取り組んでいきます。

【中川市長】

## ゴミのポイ捨てについて



土浦第四中学校 いそやまれいな 磯山礼奈さん

道路に落ちているゴミは、誰が拾い、捨てているのですか。また、ポイ捨てを防止するために、どのような取り組みを行っていますか。

日常的な清掃活動については、町内会や地域ボランティアなどの皆さんが中心になって行っていただいております。また、毎年「ごみゼロの日」と「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」として、市内全域の一斉清掃をしています。土浦市では、「土浦市さわやか環境条例」を制定し、ごみのポイ捨て行為の禁止と、土地の所有者などに対しても、土地の適正管理を啓発、指導しています。

【小松澤市民生活部長】

## 独居老人に対するサポートについて



土浦第二中学校 きくたりにせ 菊田理世さん

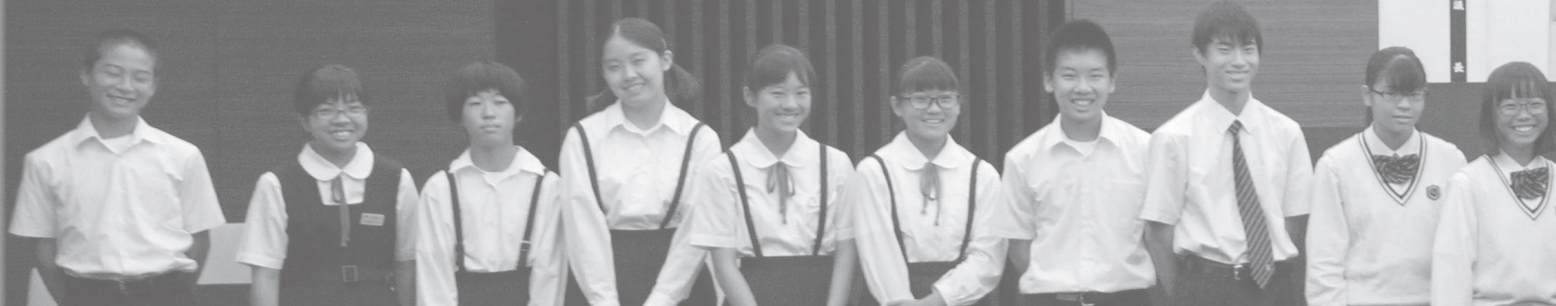
独居の高齢者が多く、暑い夏や寒い冬に何かしらの理由で亡くなる話や行方不明になる話が年々増えていると思います。市ではどのようなサポートを行っていますか。

市では、「緊急通報システム事業」や「配食サービス」などを実施し、安否確認と、声かけによる孤独感の解消を図っています。高齢者の方へのサポートは、事業者の方や住民の皆さんなど、地域全体で取り組んでいくことが大変重要ですので、自分の住んでいるまちに関心を持ち、よく知ることで、身近な高齢者の方への手助けを心がけていただくよう、お願いいたします。

【中川市長】

土浦の将来を担う中学生たちからの問いかけ

# 中学生模擬議会



## 水道料金について



都和中学校：齋藤那美さん

土浦市の水道料金は、近隣の市町村（水戸市とつくば市）より高いのはなぜですか。また、値下げの計画や予定はありますか。

水道事業は、運営費用を水道料金などの事業収入によって賄うことが基本となっています。水戸市は自分の浄水場から水道水を供給していること、つくば市は料金収入の他に市の税金を投入していることが考えられます。なお、土浦市の料金は県内42事業体の中で安い方から18番目となっています。今後は古くなった水道施設の交換や修繕などの費用が増えるため、収益を確保しておかなければなりませんので、現時点での値下げは難しいと考えています。【柴沼建設部長】

## 土浦市の防災計画について



土浦第五中学校：吉田美涼さん

洪水や地震などに備えて、土浦市ではどのような防災計画を立てていますか。

近年の多発・多様化する災害に対応するため、市では土浦市地域防災計画を作成し、災害への備えとして防災訓練や防災倉庫の整備など、様々な対策を講じています。また災害時は、「自助」・「共助」の防災減災活動がとても大事です。ご家族で話し合い、水害などの災害に備え、避難先や連絡先の確認、非常食の備蓄を用意していただきますようお願いいたします。【日高総務部長】

## 土浦市民のゴミ減量大作戦について



新治中学校：渡邊壮梧さん

今年度の最終減量目標値はいくつですか。またISO14001の取り組みについて教えてください。

本市のごみ減量化の将来目標として、市民一人が一日に出したごみの量1082グラムを、平成33年度までに全国平均946グラムまで減らすことを目指しています。また、ISO14001とは、環境に負荷をかけない取組を会社などの組織全体で管理する仕組みのことを言い、本市では、ごみの量を減らすことなどの目標を設定し、今年度からは、児童・生徒の皆さんにはごみの量を測ってもらう取組をお願いしています。【五頭副市長】

## 高齢者ドライバーについて



土浦第六中学校：平塚りみさん

最近、高齢者ドライバーの交通事故や免許証返納についてのニュースをよく見ます。土浦市では、高齢者ドライバーの交通事故防止のために取り組んでいる事や実施を予定している策はありますか。

交通事故は年々減少していますが、（運転操作ミスや信号機の見落としなど）高齢ドライバーの事故割合が増加し、大きな社会問題となっています。土浦市では、キャンペーンや交通安全教室を開催して、高齢ドライバーの交通事故防止を図っています。また、車を運転しなくても生活に困らないように、運転免許証を返納した高齢者に対し、乗り合いタクシーの年会費の全額を助成して、高齢ドライバーが運転免許証を返納しやすい環境づくりも進めております。【五頭副市長】



# 中学生 模擬議会

## 公共交通機関の拡充について

土浦第三中学校：成家 勇人さん



公共交通機関はキラちゃんバスの利用範囲を広げるなど、もっと手軽にいつでも利用できたほうが良いと思います。今後土浦市では、公共交通機関をより良くしていくために、どのようなことを行おうとしていますか。

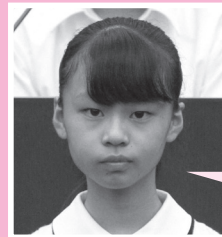
土浦市では、「土浦市地域公共交通網形成計画」を策定し、公共交通の利便性を向上することで利用者を増加させ、それにより増便・運行時間の拡大を図り、更なる利用者増となる好循環を実現させ、地域の皆さんや交通事業者と共に、公共交通の確保・維持を図っていくことを目指しています。皆さんも、外出の際、できるだけ公共交通を利用するようお願いいたします。【船沢都市産業部長】



後半議長：矢口龍朗さん(土浦第六中学校)

## 中学校の学力について

土浦第一中学校：鈴木春奈さん



土浦市の学校教育目標には「『確かな学力』を育む教育の展開に努める」とあり、特に言語活動の充実を重視してありますが、学校では言語活動の充実ができないと感じるため、授業での発表の仕方を工夫してはどうでしょうか。

土浦市の中学生は、地域や社会に関心を持ち、意欲的に学力向上に取り組んでいます。学校の授業では、たとえ間違った部分があってもその理由を教室の全員で追究することで、見方・考え方が広がり、理解が深まると考えています。生徒の皆さんの多様な意見を生かし、学力が向上する授業となるよう、先生方も日々授業改善に努めています。【井坂教育長】

## 市民税について

土浦第四中学校：今泉 葵さん

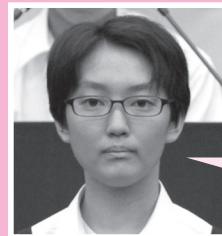


市民が納める税金の使われ方や納税するメリットはありますか。納税することで、私たちの生活はどのように豊かになりますか。

税金は、全ての人が健康で豊かな生活を送るためにみんなで出し合うお金で、納税は国民の三大義務の一つです。税金にはたくさんの種類がありますが、市に納められる税金を「市税」と言い、去年は223億円納められました。納めていただいた税金は、道路を直したり、家庭から出たごみを集めたり、いろいろなところに使われています。これからも、少ないお金で大きな仕事ができるよう工夫をしながら、大切に使っていきます。【神立市長公室長】

## 学校について

土浦第二中学校：塚本 颯花さん



平成30年に新治学園義務教育学校が完成し、小中一貫教育が実施されますが、今まであった学校はどうなりますか。また、小中一貫教育は何のために行い、どのようなメリットがあるのでしょうか。

小中一貫教育は、確かな学力や豊かな心、健やかな体を育み、充実した学校生活を目指し、より専門的な学習や小中学校間でのスムーズな学習ができることがメリットと言えます。また、新治学園義務教育学校の開校にともない、使われなくなる3つの小学校の使い方は決まっておりますが、市全体を見て、将来の活用方法などについて考えていきます。

【井坂教育長】

## 土浦市出身力士、高安関について

都和中学校：田所楽歩さん

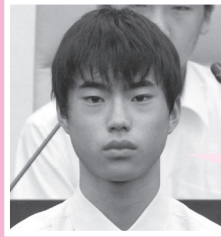


土浦市出身の高安関が大関に昇進したことで、高安関にちなんだ観光PR活動やイベント開催などは、どのように展開していこうと考えていますか。

郷土の力士が活躍する姿は大変誇らしく、「高安関のふるさと つちうら」をPRするため、少年時代のエピソードなどを集めています。土浦市を訪れてみたくなるような情報がたくさん集まれば、皆さんと一緒にPRをしていきたいと思っています。高安関には、横綱を目指してこれまで以上に活躍してもらえるよう応援してまいりますので、皆さんもよろしくお願ひします。【中川市長】

## 火災の早期発見について

土浦第五中学校：清水幹太さん



土浦市では、火災の早期発見について、どのような工夫をしていますか。また、その工夫はどのような効果がありますか。

火災を最小限の被害で抑えるためには、火災を早期に発見するため住宅用火災警報器の設置が重要であり、消防では機会を捉え市民へのPRや訓練指導を行っております。また、地域消防団により夜間巡視を行うなど、これからも安心・安全な暮らしを守るため日夜、防火防災の取り組みを続けてまいりますので、ご協力をお願いいたします。【飯村消防長】

## 待機児童対策について

新治中学校：来栖朱音さん



茨城県全体から見ると、土浦市の待機児童は少ないですが、人口を増やすためには待機児童を減らす必要があると考えています。今後、待機児童を0に近づけるために、どのような政策を考えていますか。

保育ニーズの高まりから、土浦市でも10名の待機児童が発生しました。現在、ハード面の取り組みを進めて利用定員を増やすとともに、積極的な保育士確保に努めるなど、待機児童策に取り組んでいます。今後も、保育の質・量の向上に努め、若い世代の方々が安心して結婚し、出産、子育てができる、より住みやすい街づくりを進めます。【川村保健福祉部長】

## 魅力ある小学校について

土浦第六中学校：廣木睦香さん



魅力ある小学校教育が子育て世代の定住につながると思います。土浦市として、他の市町村にない特色ある小学校教育について、どのように考えていますか。

子育てがしやすい環境は、多くの人に定住先としての魅力を感じてもらえると思っています。本市では、学校の生活環境面では普通教室などへのエアコンの早期整備を行いました。また、学習面では来年度から全小中学校で本格的に小中一貫教育を実施するとともに、電子黒板などを活用した分かりやすい授業を行うなど、魅力ある学校づくりを目指しています。

【中川市長】

